

## 第6章

# 観光交流都市づくり計画の推進に向けて

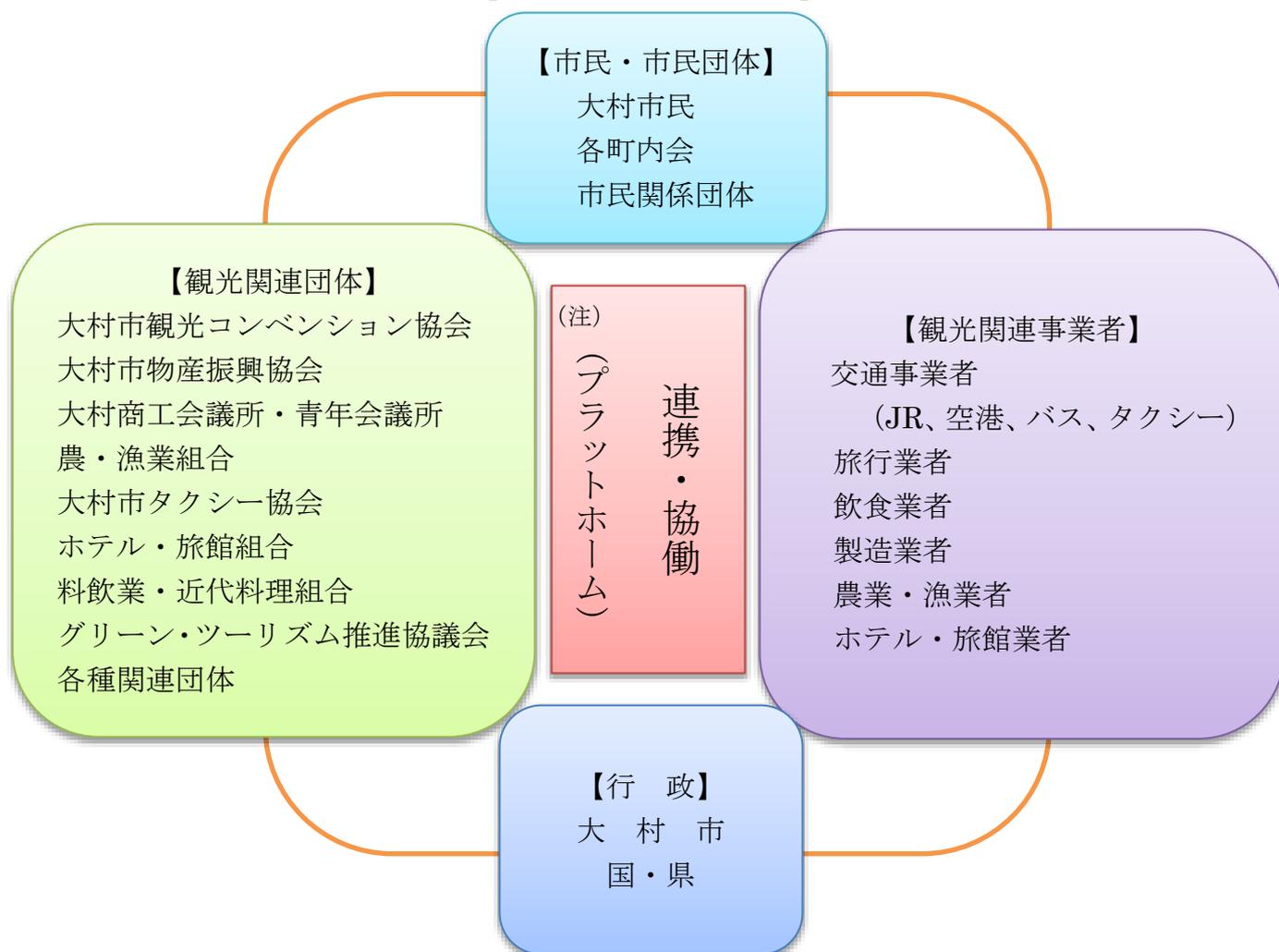
## 1 推進体制について

本計画を推進していくためには、市民、観光関連団体、観光関連事業者、行政が共通認識のもと、それぞれの役割を果たしながら互いに連携し観光交流都市づくりに取り組んでいく必要があります。

将来、観光推進と市民参加を更に強化するため、各種の観光事業をサポートする市民、外部による「プラットフォーム」を創り、イベントや観光案内などの現場支援、新しい推進企画の提案、調査、市民人材育成セミナーの開催など、実践的サポート体制を図ります。

特に、人口減少は、観光客を受け入れる「おもてなし」側の人材不足も予想されるため、市民の参画はますます重要になってくるものと思われます。

【役割分担のイメージ図】



(注) 観光まちづくりを推進する体制づくり

## **(1)市民の役割**

市民は、地域の自然や歴史・文化を愛着と誇りを持って再認識し、観光素材の再発掘やメニュー化において、主体的な活動を行っていくことが重要です。

また、地域の魅力を自らブラッシュアップしながら、観光地づくりへの参画意識を高めるとともに、魅力ある観光資源を口コミ等により市内外に広く情報発信します。

- 地域愛や郷土愛など、地域に対する誇りや愛情、愛着を持ち、本市の魅力を市内外に伝えていきます。
- 観光客に対して、おもてなしの心で接していきます。
- 観光振興に関心を持ちながら、観光まちづくりに参画します。
- これから予想される本市への移住者、市外の関係者に対応する観光まちづくりへの参画を誘発します。
- 行政、事業者と結ぶ市民主導の観光 NPO など自主的グループを支援します。

## **(2)観光関連団体の役割**

(一社)大村市観光コンベンション協会や(一社)大村市物産振興協会など、大村の観光振興の主導的機関として組織・体制の更なる強化を図るとともに、市や観光関連・民間関連事業者と連携し、効果的なプロモーションを行い、地域経済の活性化に努めます。

- 本市と連携し観光地域づくりの中心的な役割を担うとともに、戦略的なプロモーション、商品造成を行う観光地域づくりプラットフォーム機能を担います。
- 観光事業者・団体をはじめとする市民との連携・協働により、地域資源を活用した着地型商品の企画・販売などの観光事業に取り組みます。
- 会員事業者等と連携し、観光まちづくりに関する取り組みに対して協力・支援を行います。
- 事業者と連携し、本市の物産振興の推進を図ります。
- 観光イベントの企画運営及びおもてなしの人材育成を行います。
- 将来の国際観光に備え、語学や異文化の習得など、子どもや若者を含め、人材育成を図ります。

### **(3)観光関連事業者の役割**

観光関連・民間関連事業者は、本市の観光の最前線に立ち、観光客と接する観光振興の主体的役割を担っています。

また、市や観光関連団体及び市民と連携し観光産業の創出・振興を図ることが期待されます。

併せて、本市を訪れた人との心温まる「ふれあい」や「おもてなし」による、質の高いサービスの提供に努めます。

- 自らの企画力や接客・接遇の質を高め、魅力ある商品サービスの提供や観光客の満足度を高める取り組みを行います。
- 本市の観光振興に積極的に参画し、着地型観光の情報提供など観光客と地域を結びつける役割を担います。
- 他産業との連携により、新たな魅力の創出、新たな観光需要への対応を行います。
- 観光客に対する「おもてなし」の心あふれる人材育成を行います。

### **(4)市の役割**

庁内の連携はもとより、国・長崎県を始め関係市町や関係機関、観光関連団体、観光関連・民間関連事業者及び市民、市民活動団体との協働のもと、観光によるまちづくりを推進します。併せて、各主体が自主的に取り組む観光によるまちづくり事業への支援、協力及び情報の提供を行います。

また、宿泊誘発など、滞在化への観光インフラや観光拠点施設の整備を進めます。

- 観光交流都市づくり計画に基づき、本市の観光の方向性について総合的、具体的に検討し、関係者と連携して観光施策に取り組みます。
- 長崎県・県観光連盟及び市の観光関連団体をはじめ、市民団体や市民との協働のもと、観光による市民参画のまちづくりを推進します。
- 観光地としての意識を市民に持っていただくために、市民への啓発を行います。
- 市内の観光関連事業者・団体の取り組みを支援します。また、それぞれの活動が相互に連携・協働できるよう調整します。
- 本市の観光地域づくりを進めるために必要な人材育成を行います。
- マップやパンフレットなどの情報発信媒体の作成、公衆無線LANなどITシステム化、サイン・案内説明板など受入環境整備などの事業に取り組みます。

## 里山系の基本エリアの考え方

## 【資料 1】

基本エリア	地域特性・資源	位置づけ	整備形成の方向
野岳・松原 エリア	野岳湖、鉢巻山展望所周辺の里山から松原宿の田畑、街道周辺に至り、佐奈川内川の北部一帯含む水辺の景観 深澤儀太夫記念館、観光農園・カフェ・キャンプ場、裏見の滝自然花苑・しゃくなげ、フルーツの里・果樹園群、シュシュ、民泊、八幡神社・社寺群、松原宿・宿場など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域圏滞在交流拠点 市の歴史文化と里山文化の二大観光の拠点化</li> <li>・広域圏からの観光誘致の交流拠点</li> <li>・市の新しい宿泊滞在拠点</li> </ul>	野岳湖周辺の農園、手作り工房 ショップ、カフェ、シャクナゲなど花畑等が形成され、果物、野菜などの地元特産品や集約したシュシュが広域集約拠点を形成し、年間を通して広域誘客の形成 ○大村市の広域観光誘客基地 (多様な観光対応) 日帰り集客基地…里山型の民泊、コテージ、キャンプの滞在基地
萱瀬・黒木 エリア	黒木溪谷・萱瀬ダムから郡川・国道 444 号線沿い、宮代、萱瀬、鬼橋一帯、古代・中世の古道、炭焼き、キリシタン史と山間部はダム景観と登山道で山間をめぐる、広域交通至近の田園は里山集落、市街展望の琴平スカイパーク、ダムサイト、(新) 住民による林村産品の直売、カフェ、山荘、野外活動施設、農園など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期滞在・里山定住のエリアの形成化 住民のコミュニティ資源による田園型の中長期、新定住の形成</li> <li>・山荘、ダッシュ村、研修村集落のライトアップ活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野岳・松原とともに生活資源の供給エリアの郡川、古代国道沿いの田園・里山の資源による暮らしの環境と広域交通拠点や街の至近性を活かし、中・長期や新定住の拠点エリアの形成促進地</li> <li>○田園里山暮らしの JUI ターン者の受入れ 急過疎化の山間の集落との新コミュニティ形成</li> </ul>
東大村・ 三浦エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レインボーロードから木場、東大村から鈴田峠、三浦に至る山間・里山一帯で諫早市と市境造園農業、棚田、畜産、産業施設、福祉施設の混在など未整備</li> <li>・つつじ等の園芸、カフェ群、陶芸工房、長崎街道、鈴田峠、直売・レストラン、キリシタン碑、寺島、喫茶(海辺)など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民主導による市民・子どもたち、若者の野外交流、楽習拠点、合宿基地</li> <li>・クライン・ガーデン、教育ツーリズム、研修合宿、修学旅行の基地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源・環境・暮らし文化を活かしグリーン・ツーリズムによる市民・県民の交流及び子どもたちの野外楽習と新しい修学旅行、訪日教育旅行の滞在基地の創出を推進するエリア</li> <li>○市民主導による事業化、起業家、活性化市民・県民、学校教育の楽習の場修学旅行、訪日教育旅行基地の形成</li> </ul>

～計画策定までの経緯～

【資料2】

**観光交流まちづくり計画策定専門委員会**

実施日	内 容
平成27年5月29日	(1) 観光交流都市づくり計画（仮称）策定について (2) 第1章～第2章の検討
平成27年6月30日	(1) 第1章～第2章の確認 (2) 第3章～第5章の検討
平成27年8月27日	(1) 第1章～第5章の確認 (2) 第6章の検討
平成27年10月7日	(1) 全章の確認 (2) 参考資料（里山系基本エリアの考え方）
平成27年12月16日	(1) 全章の修正点についての確認

**観光交流まちづくり計画策定専門委員会専門委員**

氏 名	所 属（役職）
片岡 力（アドバイザー）	歴史を活かしたまちづくり戦略協議会 会長
酒井 辰郎（委員長）	大村市タクシー協会 会長
井原 孝司	大村ホテル・旅館組合 理事
江上 隆彦	大村商工会議所 調査役
菊田 孝治	九州旅客鉄道（株）大村駅長
楠山 史朗	長崎県営バス営業部 運輸課長
熊 康一朗	大村市観光コンベンション協会 委員
谷口真奈美	長崎国際大学 国際観光学科
鶴田 泰然	おおむら歴史観光ボランティアガイドの会 副会長
中川 有二	大村青年会議所 副理事長
日高 里依	大村市観光コンベンション協会 委員
廣島 隆	大村市観光コンベンション協会 マネージャー
御厨 幹正	大村市物産振興協会 会長
富永 達也	新幹線まちづくり推進室 課長補佐
田中 勝美	観光振興課 課長補佐
金原 剛蔵	都市計画課 係長
今村 雅憲	農業水産課 係長
今村 明	文化振興課 係長
太田 武義（事務局）	観光振興課 課長
河野 康則（事務局）	観光振興課 係長
榎田百合子（事務局）	観光振興課 職員